

72人が認知症高齢者見守り事業に参加 第1回認知症講演会が開催



認知症について説明する講師

5月23日、ふれあいセンターで町地域包括支援センター主催による「第1回認知症講演会」が行われ、町内から72人が参加しました。この講演会は「認知症高齢者見守り事業」の一環として開催され、今年度は全3回の講演を予定しています。

1回目となるこの日は、認知症の専門医として実績のある、埼玉森林病院 精神科の磯野 浩院長が「認知症の基礎知識」について説明し、参加者はメモを取るなど真剣な表情で話を聞いていました。

80歳になっても20本以上の歯を 8020 よい歯のコンクール



優秀賞を受賞した吉岡さん

坂戸市立市民健康センターで6月2日、80歳以上で自分の歯が20本以上ある健康な方を表彰する入間郡市歯科医師会主催による「8020 よい歯のコンクール」が開催されました。鳩山町からは吉岡喜美江さんが参加し、優秀賞を受賞されました。

吉岡さんに秘訣を伺ったところ、「町地域包括支援センター主催の『健口教室』で教わった、歯ブラシの使い方のコツや唾液の分泌をよくするマッサージが役に立っています」と話してくれました。



力を合わせて心を1つに 町内の小中学校で運動会・体育祭



デッドヒートを繰り広げるリレー選手（鳩山中学校）

5月25日に鳩山中学校で体育祭が、6月1日には鳩山小学校、今宿小学校、亀井小学校で運動会が開催され、各会場では大きな声援が響き渡っていました。鳩山中学校では、各学年に渡る混合チームを編成し、団長を中心に一致団結して、熱のこもった競技や応援が繰り広げられていました。

また、運動会当日が開校記念日でもあった今宿小学校では、「きらめけ笑顔！みんなのバトン心を1つに走り出せ！」を今年のスローガンとして、それぞれが持てる力を精一杯振り絞っていました。



みんなで協力しておみこしを運ぶ児童たち（今宿小学校）

県内45市町村で実施 土砂災害を想定した情報伝達訓練



高野倉自治会長(右)に情報伝達する職員

土砂災害防止月間(6月)に合わせた全国統一防災訓練の一環として、6月2日、情報伝達訓練などが県内で一斉に実施されました。

町内でも、大雨による土砂災害の発生に備えた訓練が行われ、県から連絡を受けた町は、直ちに災害対策本部を設置。防災担当職員らが、土砂災害の危険箇所がある高野倉地域の自治会長宅へ情報を伝達したり、車で町内の被害状況を確認したりしました。

55人が参加して白熱の試合を展開 春季町民卓球大会



スマッシュを放つ選手

6月2日、町卓球連盟主管による春季町民卓球大会が、町民体育館で開催され、町内外から55人の選手が参加しました。この大会には、町内の中高生や一般の選手のほか、町外の高校生も招待され、日頃の練習の成果を発揮しつつ、卓球により親睦を深めました。

この大会の優勝者には、名誉あるトロフィーが授与されるとあって、決勝トーナメントでは緊張感のある試合が展開されていました。

災害時における二次避難所の開設等に関する協定を締結



鳩山町長と溝井理事長

5月31日、町と社会福祉法人鳩山松寿会の間で、災害時における二次避難所(福祉避難所)の開設等に関する協定締結に伴う調印式が行われました。この協定により、災害時に通常の避難所では避難所生活が困難であり、何らかの特別な配慮を必要とする要援護者の安全確保が図れます。

溝井八洲夫理事長は、「災害時は施設を120%活用し、町の災害対応に精一杯協力したい」と語っていました。

健康を保つ秘訣を伝授 さわやか健康教室が開講



講師指導のもとスクワット運動をする受講者

5月28日、さわやか健康教室の開講式が町保健センターで開催されました。この教室は、鳩山町健康づくりサポーターの会との協働事業として、また、東京都健康長寿医療センター研究所との共同研究事業の一環として全10回開催されます。

開講式後は「膝や腰を健やかに保つための秘訣」と題して、高齢者運動器疾患研究所の石橋英明代表理事が、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)についての講義や実技を行いました。